

玉野立鉾立小学校

児童数 81名 ・ 学級数 7学級 ・ 教職員数 15名（平成27年1月1日現在）

○取組実践のキーワード

学び合い

○標題（研究主題）

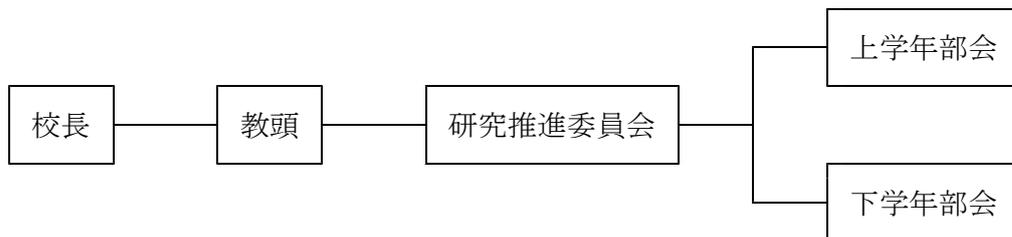
主体的に学習に取り組み、共に学び合う児童の育成

○取組を始めた経緯

平成22・23年度に東兎中学校区が県の学力向上実践校事業の研究指定を受けた際に、同中学校区内の小中学校が、「学び合い」を共通のテーマとして設定し、本校では算数の研究に取り組んだ。研究指定された2年間で「学び合い」についての教員の認識も深まり、一定の成果が見られたが、「学び合い」は、その後も取り組むべき価値の高いテーマであるという考えから、研究教科も算数のまま変更せず、本年度まで継続して取り組んできている。

○取組の実施体制

以下のような研究推進体制を組み、実践を進めている。



○学力向上に向けた具体的な取組

★「学び合い」の授業づくり

「学び合い」の授業づくりを学力向上策の中核として位置付け、校内研究として取り組んでいる。ペア、グループ、クラス全体での学び合いの在り方や学び合いが生まれるきっかけづくりを中心に研究を進めている。

★朝学習

毎朝10～15分程度を朝の学習とし、各クラスで漢字、計算、読書等に取り組んでいる。特に、計算では、月に1回全校一斉に100マス計算に取り組み、目標を達成した児童には、全校朝会で表彰し、励みとしている。

★パワーアップタイム

年に5回、パワーアップタイムを設定し、国語、算数を中心に基礎的な問題練習に取り組み、管理職も個別指導に入り、個に応じた指導を心がけている。

★読書活動

学校での読書に加え、家庭での読書（家読）^{うちどく}に取り組んでいる。これは、校内読書週間の際に、児童が図書室で借りた本を家庭に持ち帰り、親子で読書を楽しむものである。

★中学校区での取組

同中学校区内3小中学校が統一して、「家庭学習強化期間」を2週間設定し、家庭学習の時間の確保とテレビやゲーム等の時間の短縮を中心として取り組んでいる。この期間中は、がんばりカードを活用し、毎日振り返るようにしている。

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

学力向上策の中核と位置付けている「学び合い」の授業づくりでは、どのような場面でどのような学習形態（ペア、グループ、クラス全体）を取り入れることが有効か、授業実践を通して明らかになってきている。また、児童も友達と意見交換をして、教えたり教わったり、互いの考えを高めたりすることのよさや楽しさが以前よりも実感できている。

朝学習やパワーアップタイムについては、以前から本校で取り組んできたものであり、児童にもしっかりと根付き、基礎学力の向上に寄与している。

読書活動（家読）、中学校区での取組（家庭学習強化期間）については、本年度からの取組であるが、児童の家庭での生活習慣の改善に役立っている。

2 課題

「学び合い」の授業づくりでは、今までの研究成果として、互いの考えを話し合う学び合う授業展開は一応できているが、自分の意見を表現する力も重要で、これには個人差が比較的大きく現れやすいので、個々の表現力をどう高めていくかということが課題である。

その他、朝学習等の取組については、なお一層児童が意欲をもって取り組めるように、マンネリ化を回避し、それぞれの取組ごとに工夫していくことが大切である。

○取組の継続・発展の要因

学力向上のための本校の取組の内容は、重要であると認識しており、基本的に今後も継続・発展させていきたいと考えている。その際のポイントは、学習意欲、基礎学力、活用力、そして小中連携である。今後は、特に、小中連携をベースに推し進めながら、学力の向上を図っていきたい。

○管理職・中核教員等のアクション

管理職は、適宜、研究主任と校内研究の進め方について意見交換をするとともに、助言を与え、校内研究の方向付けをしている。また、中核教員に対しては、面談等の機会を活用して、中核教員としての自覚の高揚を図り、校内研修で協議が深まるよう、的確な発言するよう促している。